

見取りの工夫



見取りの方法をもっと詳しく知りたいです。

ワークシート、板書の写真、道徳記録ノートの例を紹介します。少し意識したり、工夫したりするだけで、児童生徒の変容がよく見取れるようになります。



■見取りの工夫の実際

▷児童生徒が書いて残したものの「ワークシート」の例

月 日 第 回 道徳 「新しいプライド」

1年 組 番号

☆将来の仕事を考える時に、何を大切にしたいですか。

本当にやりたいと思える仕事。
給料（家族を守るのに十分）

1 主人公が車両清掃の仕事に誇りを持てるようになったのはなぜだろう。

2 「働く」ということについて、この話を通して、どのようなことを考えましたか。

3 「働くこと」について授業を通して考えたことを自分の将来のことをイメージしながらまとめてみよう。

☆将来の仕事を考える時に、何を大切にしたいですか。

お金とかではなく誇れる仕事。
やりがいのある仕事を選ぶのが一番大切。

<一面的な見方から

多面的・多角的な見方へ発展させている>

授業で扱う道徳的価値に関して、授業の始めと終わりに同じ発問を設定しました。友達と議論する中で、友達の考えも参考にしながら自分の考えを深めていることが分かります。

<道徳的価値の理解を

自分自身との関わりの中で深めている>

事前アンケートで児童生徒の実態を把握し、授業を構想しました。授業では登場人物に自分を投影して考え、自分自身の問題として振り返ることができました。

▷児童生徒が書いて残したものの「事前アンケート」の例

道徳く アンケート

3年 組 名前

1 家のお手つだいをするのは好きですか。(○をつけてください)

とても好き 好き 少し好き 好きではない

2 それはなぜですか?

ほかにやりたいことがあるから、少しめんどくさい。

3 家のお手つだいをすると、どんな気持ちでしごとをしていますか?

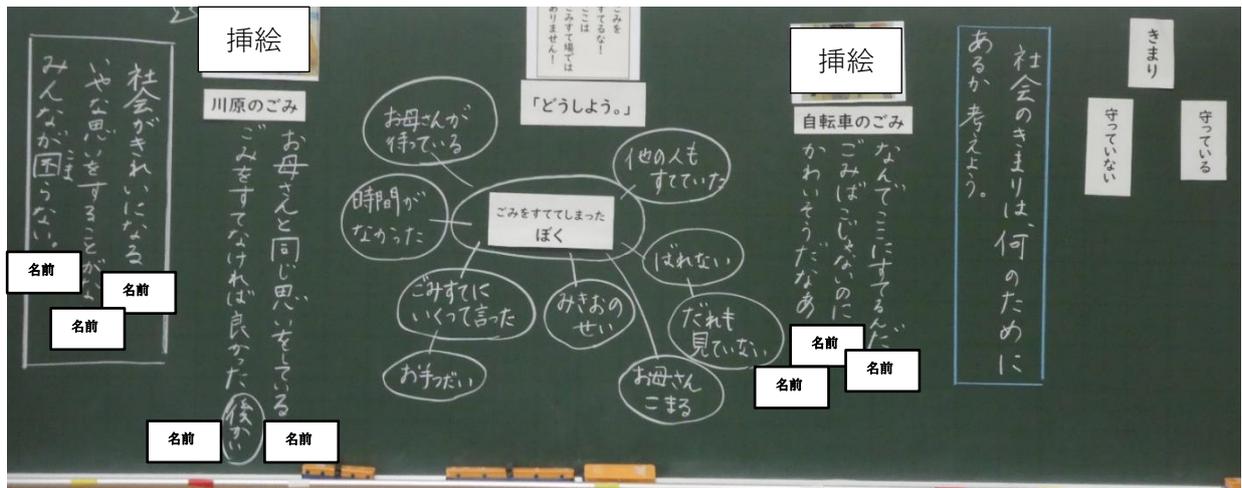
すぐにおわるけど、やりたい気持ちのときはあまりない。

月 日 () だい 回 どうとく
ごみステーション

はたらくときに大切な気持ちについて
考えよう。

わたしがお手つだいをすると家ぞくのためになるので、これからはすすんでやってみようと思います。おじいさんみたいに、これからはみんなのためになるようにお手つだいをしてみようと思いました。

▷児童生徒の発言や様子から教師が記録をして残したものの「板書の写真」の例



思考ツール「ウェビングマップ」を活用して、登場人物の心の迷いを可視化しました。児童生徒が出した考えから、発問は、児童生徒が多面的・多角的に考えることができる問いであったか、自分のこととして捉えることができる問いになっていたかなど、指導の意図に基づいて授業を振り返り、指導の改善に生かすことが大切です。

また、写真に発表者の名前を残しておくワークシートと合わせて考えの変容や深まりが分かります。特に書くことが苦手な児童生徒の考えを把握したいですね。



▷児童生徒の発言や様子から教師が記録をして残したものの「道徳記録ノート」の例

A子

① 6/23 ドッジボール (善悪の判断)
発言はしないが、 の言えないという考えに大きくうなずいている。 の友達に流されないで言う、という意見に対して、友達がいないのは嫌だから言えない。言いたい気持ちはあるが言えない自分で小論文。(記述)

③ 7/7 とんりのせき (公正・公平)
グループでの話し合いでは、自分と異なる考えの に「どうして?」と聞いていた。終末の振り返りに、異なる考えを受け入れようとする言及あり。(99)回・多角

⑫ 10/28 卓球は四人まで (友情・信頼)
導入…友達と関わる時に大切(傷付けたくない)
↓ 議論
終末
友達が傷付けると自分も後悔(深)
言葉を選ぶことが大切。
(自分との関わり) 友達への思い

B男

① 6/23 ドッジボール (善悪の判断)
正しいと思ったことを行うために、仲の良い友達に流されないことが大切(発言)(自分との関わり)
<ペア学習> に正しいことを言わないと今後どうなるかを熱く語る。

④ 7/14 日曜日のバーベキュー (規則の尊重) (自)
導入…(きり)だから 深めてい。 (自分との関わり)
終末…社会のきまりは、みんなが笑顔で生活するため。ごみを捨ててしまおうになる人(明)の弱さに共感。友達の発言にうなずき

⑬ 11/4 雨のバスでいりゆ所 (規則の尊重) (多)
バスのために自分中心の行動 変化する
別に!! 共感
バス停に並んでいる人の立場で考え、やはりみんなのことを考えることが大切。
(自分との関わり) 立場→多面・多角 (自) (多)

多面的・多角的…◎
自分との関わり…◎

記号化したり、記録内容に線を引いたりするなど、自分なりに工夫をして効率的に記録することが大切です。

一面的な見方から多面的・多角的な見方へと発展させているか、道徳的価値の理解を自分自身との関わりの中で深めているか、の2つの視点を重視し、記録に残すようにします。1時間の授業で全員分の記録を残すのは困難です。あらかじめ抽出した児童生徒や、特に成長が見られた児童生徒の発言や様子に絞って記録しましょう。

